

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善							
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					中期目標	成果の方向性	R3年度 予算額 (千円)	R4年度 予算額 (千円)	事業費の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R2年度 事業 評価	R4年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R2年度 局施策 評価	R4年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	
						指標名等	現状値 (基準値)	R2年度	R3年度	R4年度											
I-1-(1)-⑥ 地域などと行政の連携・協働による子育て支援の推進	1	①	地域に役立つ公園づくり事業	みどり・公園整備課	身近な公園の再整備について、小学校区単位で開催するワークショップで地域住民の意見を聞き、地域ニーズを反映した公園整備を行うこととして、これまで以上に利用される公園を目指す。計画段階から地域住民が参加することで公園への愛着を高め、地域活動など公園利用の活性化につなげる。計画策定後は、翌年から概ね2カ年で再整備を行う。	地域に役立つ公園づくり事業による整備公園数	—	目標 16 公園	実績 14 公園	達成率 87.5 %	—	継続	85,100	58,000	減額	6,825	順調	対象とする公園の整備内容が小規模なものが多いため、令和4年度の事業費を減少させている。	順調	今後も継続して地域と行政が連携し、魅力ある公園づくりに取り組む。	
I-3-(1)-② 教育関係施設との連携による人材育成	2	④	【施策評価の み】 到津の森公園 による学習プ ログラムの提 供	公園管理課	【施策の内容】 小学生を対象とした、動物や自然とのふれあいを通して命の大切さや自然環境の保護の必要性を学ぶプログラムの提供	【施策の指標】 「市民環境力」 を高め、環境保 全に対する意識 が高まった状態	—	目標 —	実績 —	達成率 —	—	—	—	—	—	—	—	—	—	順調	今後も継続して小学生への学習プログラムを提供する。
II-1-(4)-④ 総合的な災害対策の推進	3	①	河川改修事業の推進	水環境課	近年、ゲリラ豪雨や都市化の進展に起因する浸水被害が増加している。浸水被害を抑制するため、治水事業の根幹となる河川改修を推進する。	浸水被害の低減	—	目標 単年度目標 設定なし	実績 —	達成率 —	河川毎に計画している降雨(1時間で50～70mm程度)に対応できる状態(R15年度)	継続	2,428,800	2,458,400	維持	78,250	順調	市内河川の治水能力向上を図るため、計画的な治水整備事業を推進する。	順調	今後も継続して治水事業の根幹となる河川整備を推進する。	

【Plan】 計画 / 【Do】 実施											【Check】 評価 / 【Action】 改善										
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R3年度 予算額 (千円)	R4年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R2年度 事業 評価	R4年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R2年度 局施策 評価	R4年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)		
						指標名等	現状値 (基準値)	R2年度	R3年度	R4年度										中期 目標	
4	①		巨過地区再整備事業	神嶽川巨過地区整備室	長年市民に親しまれている巨過市場の魅力向上と、市場に隣接する神嶽川の治水安全度の向上のため、河川事業と一体となった巨過地区の再整備を推進する。	神嶽川（巨過地区）の治水安全度向上	—	目標	単年度目標 設定なし	単年度目標 設定なし	単年度目標 設定なし	巨過地区において概ね50年に一度発生する降雨にも対応できる状態（R13年度）	拡大	436,000	1,036,628	増額	117,800	順調	複合商業施設建築工事（立体換地建築物工事）の着手前の作業として、建物補償調査・補償契約を行い、建物解体及び埋蔵文化財調査を行うことのできる事業進捗を図る。		
								実績	—												
5	①		豪雨災害から市民を守る緊急対策事業	水環境課	普通河川等の流下能力向上のための改修事業、護岸の長寿命化を行い、市民が安全・安心を感じるまちづくりを推進する。	浸水被害の低減	—	目標	単年度目標 設定なし	単年度目標 設定なし	単年度目標 設定なし	H30年豪雨で被災した河川の浸水対策が完了している状態（R5年度）	継続	506,000	490,000	維持	21,300	順調	普通河川等の改修、護岸の長寿命化事業を推進する。		
								実績	—												
II-2-(3)-④ 個人の健康づくりを支える環境の整備	6	③ ①	健康づくりを支援する公園等整備事業	緑政課	公園に高齢者の健康増進に配慮した健康遊具を設置し、運動教室を開催して、利用者を使い方を説明する。 継続的にこの健康遊具を利用することにより、高齢者の体力増進に繋げる。	高齢者に配慮した健康遊具の設置公園数	累計 24公園 (R2年度)	目標	1 公園	2 公園	1 公園	累計 30公園 (R5年度)	継続	23,000	11,000	減額	3,650	遅れ	今後も継続して健康遊具整備を進める。	遅れ	今後も継続して高齢者の健康づくりに資する環境整備に取り組む。
								実績	0 公園												
III-1-(1)-③ まち美化活動の拡充	7	①	ボランティアネットワークの推進（道路サポーター）	道路計画課	市が維持及び管理する道路において、道路清掃・美化などのボランティア活動を行う地域の団体を対象に、清掃用具や花苗の支給などにより支援する。	道路サポーター加入団体数	—	目標	235 団体	240 団体	245 団体	250団体 (R5年度)	継続	17,071	17,046	維持	9,400	順調	ホームページやSNSを活用した広報を積極的に行い、より一層の団体数増加に努める。	順調	今後も既存団体の支援や団体数の増加・維持に取り組む。
								実績	226 団体												

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善							
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の方向性	R3年度 予算額 (千円)	R4年度 予算額 (千円)	事業費の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R2年度 事業 評価	R4年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R2年度 局施策 評価	R4年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)		
						指標名等	現状値 (基準値)	R2年度	R3年度	R4年度										中期 目標	
8	①		ボランティアネットワークの推進（公園愛護会）	公園理課	10名程度の地域住民で組織されるボランティア団体で、公園の美化活動・公園施設の点検や禁止行為の連絡・公園利用者のマナーづくり・市民花壇づくりなどを行い、活動面積に応じて活動費を助成している。	公園愛護会の結成数	—	目標 1,160 団体	1,160 団体	1,160 団体	1,160 団体	1,160 団体	継続	45,730	45,097	維持	18,135	順調	公園愛護会が活動しやすい仕組みづくりに継続して取り組み、団体数の維持・増加に努める。		
						実績	1,155 団体														
9	①		ボランティアネットワークの推進（河川愛護団体）	水環境課	地域の住民で構成する河川愛護団体に清掃道具購入の費用等となる補助金を交付することにより、美化活動を広げる。また、美化活動に参加することにより、地域の河川を身近に感じ、自分たちの川として愛着を持つような啓発活動へとつなげる。	河川愛護団体数	—	目標 73 団体	73 団体	67 団体	73 団体	73 団体	継続	2,634	2,634	維持	440	順調	引き続き、多くの市民に河川に関心を持ってもらえるよう、河川愛護団体の活動を推進する。		
						実績	62 団体														
III-1-(2)-① 魅力ある生活空間づくり	10	①	「花やみどり」による彩りと潤いのあるまちづくり	緑政課	都市景観の向上と潤いのある街づくりを目指し、花壇（公共花壇）の整備を行うと共に、市民花壇やスポンサー花壇、うえるっちゃ！花壇といった、市民ボランティアや企業・団体と一体となって美しく快適なまちづくりを推進する。	市民花壇活動団体数	564 団体 (R2年度)	目標 628 団体	628 団体	564 団体	564 団体	564 団体	継続	57,090	56,560	維持	23,150	順調	今後も継続して市民との協働や街かどの整備など、総合的な緑化を推進する。 【中期目標の変更内容】 北九州市緑の基本計画改訂に伴い、628団体から564団体に変更する。	順調	今後も継続して、街かどの花壇整備や地域ニーズを反映した公園整備など、魅力ある生活空間づくりに取り組むとともに、官民が連携して公共空間の魅力向上を図り、公園利用者の利便性向上や魅力的な緑地空間の創出を推進する。
						実績	564 団体														
						達成率	99.6 %														
						達成率	84.9 %														
						達成率	89.8 %														

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善									
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					中期目標	成果の方向性	R3年度	R4年度	事業費の増減	人件費（目安）金額（千円）	R2年度事業評価	R4年度に向けて強化・見直した内容（課題に対する改善方法等）	R2年度局施策評価	R4年度に向けて強化・見直した内容（課題に対する改善方法等）			
						指標名等	現状値（基準値）	R2年度	R3年度	R4年度			予算額（千円）	予算額（千円）									
11	①		地域に役立つ公園づくり事業	みどり・公園整備課	身近な公園の再整備について、小学校区単位で開催するワークショップで地域住民の意見を聞き、地域ニーズを反映した公園整備を行うことで、これまで以上に利用される公園を目指す。計画段階から地域住民が参加することで公園への愛着を高め、地域活動など公園利用の活性化につなげる。計画策定後は、翌年から概ね2か年で再整備を行う。	地域に役立つ公園づくり事業による整備公園数	目標	16	公園	16	公園	16	公園	—	継続	85,100	58,000	減額	6,825	順調	対象とする公園の整備内容が小規模なものが多いため、令和4年度の事業費を減少させている。		
							実績	14	公園														
12	①		<新>都市再生整備計画（公園）	緑政課	東田地区では、2018年度から5年間で「東田ミュージアムパーク創造事業」を実施し、地域における文化観光を推進している。また、2022年春には、新たに新科学館や大型商業施設がオープンする。これを機に官民が連携し公共空間の魅力向上を図るとともに、居心地よく歩きたくなる環境を整備し、観光交流拠点の中核に相応しい魅力ある都市環境の形成を推進する。	公園利用者の利便性向上及び魅力的な緑地空間の創出	目標					—	—	—	—	10,000	—	5,400	—	東田地区では、2018年度から5年間で「東田ミュージアムパーク創造事業」を実施し、地域における文化観光を推進している。また、2022年春には、新たに新科学館や大型商業施設がオープンする。これを機に官民が連携し公共空間の魅力向上を図るとともに、居心地よく歩きたくなる環境を整備し、観光交流拠点の中核に相応しい魅力ある都市環境の形成を推進する。			
							実績																
III-1-(3)-②			安心して通行できる身近な道路の整備	道路計画課	高齢者や障害者など、誰もが安全で快適に通行できるよう、バリアフリーのまちづくりを進める。具体的には、歩道の新設や拡幅、段差解消、視覚障害者誘導用ブロックの設置などのバリアフリー化を行う。	主要駅周辺地区の主要経路の整備率	目標	100	%	100	%	100	%	100%（R7年度）	継続	357,100	711,500	増額	26,150	順調	本市における高齢化率は全国平均を大きく上回るとともに、他の政令指定都市の中で最も高く、急速に進んでいる。このような状況のもと、バリアフリー化の推進は必要不可欠であり、着実に取組を継続する。	順調	今後も誰もが安全で快適に通行できる環境の整備を推進する。
							実績	94	%														
							達成率	94.0	%														

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善					
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R3年度 予算額 (千円)	R4年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R2年度 事業 評価	R4年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R2年度 局施策 評価	R4年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)
						指標名等	現状値 (基準値)	R2年度	R3年度	R4年度									
14	①		通学路の安全対策	道路計画課	登下校中の児童が交通事故に巻き込まれず、安全に安心して通学できる環境を整えるため、教育委員会や学校関係者、警察と一体となって、さらなる通学路の安全対策を推進する。	通学路の危険箇所における対策完了箇所数	目標	—	—	—	—	継続	676,800	944,500	増額	26,150	順調	児童の安全・安心な通学路環境の整備は、交通安全事業において最も重要な施策であり、引き続き、対策に取り組んでいく。	
							実績	63	箇所										
							達成率	—											
15	①		小倉駅・黒崎駅前 の賑わいづくりの推進	道路計画課	北九州市の玄関口となる小倉都心部と黒崎副都心部の駅前において、魅力的な都市環境の創造につながる道路環境整備を行い、まちの賑わいを推進する。	歩いてみたくなる歩行空間を創出	目標	—	—	—	歩いてみたくなる歩行空間の創出	継続	520,000	646,000	増額	61,500	順調	小倉都心部・黒崎副都心部におけるまちの賑わいづくりを推進し、歩いてみたくなる歩行空間を創出するため、引き続き計画的に道路環境整備を進める。	
							実績	—											
							達成率	—											
16	①		旦過地区再整備事業	神嶽川旦過地区整備室	長年市民に親しまれている旦過市場の魅力向上と、市場に隣接する神嶽川の治水安全度の向上のため、河川事業と一体となった旦過地区の再整備を推進する。	神嶽川（旦過地区）の治水安全度向上	目標	単年度目標 設定なし	単年度目標 設定なし	単年度目標 設定なし	旦過地区において概ね50年に一度発生する降雨にも対応できる状態（R13年度）	拡大	436,000	1,036,628	増額	117,800	順調	複合商業施設建築物工事（立体換地建築物工事）の着手前の作業として、建物補償調査・補償契約を行い、建物解体及び埋蔵文化財調査を行うことで着実な事業進捗を図る。	順調
							実績	—											
							達成率	—											
17	①		都市再生整備計画（道路改築）	道路計画課	道路拡幅工事を行うことで、慢性的な交通混雑の解消及び歩行者の安全な通行を確保し、都心へのアクセス向上を図る。	交通混雑の解消及び歩行者通行の安全確保	目標	—	—	—	交通混雑の解消及び歩行者通行の安全確保	継続	302,000	18,000	減額	15,375	順調	交通混雑の解消及び歩行者通行の安全確保のため、引き続き計画的に道路環境整備を進める。	
							実績	—											
							達成率	—											

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善							
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R3年度 予算額 (千円)	R4年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R2年度 事業 評価	R4年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R2年度 局施策 評価	R4年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)		
						指標名等	現状値 (基準値)	R2年度	R3年度	R4年度										中期 目標	
V-2-(2)-① 広域物流ネットワークの強化	18	①	自動車専用道路ネットワークの整備	道路計画課	港湾・空港・鉄道ターミナルなど、拠点間を結ぶ交通・物流ネットワークの構築や地域間の連携・交流促進を図るため、環状放射型自動車専用道路ネットワークの整備を推進する。	朝ピーク時の響灘地区～東田地区間の所要時間	43分 (H21年度)	目標	—	—	—	13分 (R9年度)	継続	1,723,333	1,646,000	維持	69,000	順調	戸畑枝光線は、本市の環状放射型自動車専用道路ネットワークを形成する重要な路線であり、引き続き計画的に道路環境整備を進める。	順調	物流ネットワークの構築や地域間の連携・交流促進を図るため、今後も計画的に道路整備を進める。
								実績	—												
								達成率	—												
	19	①	主要な道路の整備（恒見朽網線など）	道路計画課	主要な街路・道路事業を重点的かつ速やかに整備することで、市内の渋滞対策、物流ネットワークの強化、地域間の連携・交流促進を図る。	新門司地区～北九州空港間の所要時間	36分 (H21年度)	目標	—	—	—	28分 (R7年度)	継続	4,017,480	3,064,000	減額	217,250	順調	市内の渋滞対策、物流ネットワークの強化、地域間の連携・交流促進を図るため、引き続き計画的に道路環境整備を進める。	順調	
								実績	—												
								達成率	—												
V-2-(2)-② 市民の交通利便性の向上と産業活動の支援	20	①	自動車専用道路ネットワークの整備	道路計画課	港湾・空港・鉄道ターミナルなど、拠点間を結ぶ交通・物流ネットワークの構築や地域間の連携・交流促進を図るため、環状放射型自動車専用道路ネットワークの整備を推進する。	朝ピーク時の響灘地区～東田地区間の所要時間	43分 (H21年度)	目標	—	—	—	13分 (R9年度)	継続	1,723,333	1,646,000	維持	69,000	順調	戸畑枝光線は、本市の環状放射型自動車専用道路ネットワークを形成する重要な路線であり、引き続き計画的に道路環境整備を進める。	順調	市内の渋滞緩和や物流ネットワークの強化を図るため、今後も計画的に道路整備を進める。
								実績	—												
								達成率	—												
	21	①	主要な道路の整備（恒見朽網線など）	道路計画課	主要な街路・道路事業を重点的かつ速やかに整備することで、市内の渋滞対策、物流ネットワークの強化、地域間の連携・交流促進を図る。	新門司地区～北九州空港間の所要時間	36分 (H21年度)	目標	—	—	—	28分 (R7年度)	継続	4,017,480	3,064,000	減額	217,250	順調	市内の渋滞対策、物流ネットワークの強化、地域間の連携・交流促進を図るため、引き続き計画的に道路環境整備を進める。	順調	
								実績	—												
								達成率	—												

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善													
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R3年度 予算額 (千円)	R4年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R2年度 事業 評価	R4年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R2年度 局施策 評価	R4年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)								
						指標名等	現状値 (基準値)	R2年度	R3年度	R4年度										中期 目標							
V-3-(1)-② 都市基盤・施設の適正な維持管理	22	①	橋梁・トンネル・モノレール等の長寿命化への計画的な取り組み	道路維持課	<p>市内には、約2,000の橋梁と39本のトンネル、総延長約9kmのモノレールがあり、高齢化・老朽化が進行していることから、予防保全の観点での長寿命化事業に取り組んでいる。</p> <p>事業の実施にあたっては、施設毎に個別施設計画を策定し、5年に1回の定期点検に基づく計画的な維持管理を実施することで、市民の安全・安心を確保するとともに、トータルコストの縮減や予算の平準化を図る。</p> <p>・「北九州市橋梁長寿命化修繕計画」 ・「北九州市トンネル長寿命化修繕計画」 ・「北九州モノレール長寿命化計画」</p>	目標	—	—	—	全主要橋梁及びトンネルの健全性Ⅱ以上(R5年度)	継続	2,048,100	1,965,000	維持	157,525	順調	引き続き、計画的な劣化対策や耐震対策を実施することにより、都市基盤・施設の長寿命化を促進する。	順調	今後も引き続き計画に従って都市基盤・施設の長寿命化を推進するとともに、安全な道路環境を確保する。								
						実績	—																				
						達成率	—																				
						目標	—	—	—	全インフラ構造物の健全性Ⅱ以上(R8年度)										※中期目標改訂	継続	100,000	100,000	維持	22,000	順調	適切な維持管理を実施することにより、市民が安全に安心して通行できる環境を確保する。
						実績	—																				
						達成率	—																				
目標	—	—	—	安全な道路環境の確保(毎年度)	継続	100,000	100,000	維持	22,000	順調	適切な維持管理を実施することにより、市民が安全に安心して通行できる環境を確保する。																
実績	—																										
達成率	—																										
若戸大橋・若戸トンネル維持管理事業	23	①	若戸大橋・若戸トンネル維持管理事業	道路維持課								<p>若戸大橋と若戸トンネルは、若松区と戸畑区とを結ぶ本市の重要な路線である。</p> <p>日常の道路巡回や、有事発生時の緊急対応など適切な維持管理を実施することで、市民が安全に安心して通行できる環境を確保する。</p>	目標	—	—	—	安全な道路環境の確保(毎年度)	継続	100,000	100,000	維持	22,000	順調	適切な維持管理を実施することにより、市民が安全に安心して通行できる環境を確保する。			
													実績	—													
													達成率	—													

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善							
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業所 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R3年度 予算額 (千円)	R4年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R2年度 事業 評価	R4年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R2年度 局施策 評価	R4年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)		
						指標名等	現状値 (基準値)	R2年度	R3年度	R4年度										中期 目標	
	24	①	若戸大橋・若戸トンネル長寿命化事業	道路維持課	若戸大橋は吊橋構造、若戸トンネルは沈埋トンネル構造といった複雑な構造を有している。 このような構造物に対し、予防保全型の維持管理を実施し、維持管理費のトータルコストの縮減と予算の平準化を図るため、長寿命化修繕計画を策定するとともに、長期的視点に立った事業を推進する。	維持管理費のトータルコストの縮減と予算の平準化および予防保全型の維持管理	—	目標	—	—	—	健全性Ⅱ以上 (R5年度)	継続	250,000	400,000	増額	22,000	順調	長期的な修繕計画の視点に立った事業を推進する。		
VI-1-(2)-② あらゆる主体による環境政策への参加の推進	25	④	長野緑地を利用した農業体験教室	公園管理課	計画地内に複数の活動エリアを設け、一年を通してそれぞれのエリアで有機農業栽培管理や花作りを体験する市民参加による農地等の整備、管理等に取り組む。また、子どもたちが自然の中で遊び、学ぶ場を提供したり、収穫物を使用したイベントなど、市民の参加を拡大するイベント等を開催する。	農業体験教室への参加者数	—	目標	2,000 人	2,000 人	2,000 人	2,000人 (毎年度)	継続	2,750	2,750	維持	1,120	遅れ	年間を通じた農業体験参加者を増やしていくため、市民参加を拡大するイベント等を開催していく。	遅れ	市民参加の拡大を図りながら、農業体験参加者を増やし、市民の環境政策への参加を推進する。
VI-2-(1)-③ 総合的な緑化・森林整備の実施	26	①	「花やみどり」による彩りと潤いのあるまちづくり	緑政課	都市景観の向上と潤いのある街づくりを目指し、花壇（公共花壇）の整備を行うと共に、市民花壇やスポンサー花壇、うえるっちゃ！花壇といった、市民ボランティアや企業・団体と一体となって美しく快適なまちづくりを推進する。	市民花壇活動団体数 ※中期目標改訂	564団体 (R2年度)	目標	628 団体	628 団体	564 団体	564団体 (R7年度)	継続	57,090	56,560	維持	23,150	順調	今後も継続して、市民との協働による総合的な緑化を推進する。 【中期目標の変更内容】 北九州市緑の基本計画改訂に伴い、628団体から564団体に変更する。	順調	今後も継続して、市民との協働による総合的な緑化を推進する。

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善											
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R3年度 予算額 (千円)	R4年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R2年度 事業 評価	R4年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R2年度 局施策 評価	R4年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)						
						指標名等	現状値 (基準値)	R2年度		R3年度										R4年度		中期 目標			
VI-4-(1)-③ 市民と自然とのふれあいの推進	27	①	「花やみどり」による彩りと潤いのあるまちづくり	緑政課	都市景観の向上と潤いのある街づくりを目指し、花壇（公共花壇）の整備を行うと共に、市民花壇やスポンサー花壇、うえるっちゃ！花壇といった、市民ボランティアや企業・団体と一体となって美しく快適なまちづくりを推進する。	市民花壇活動団体数 ※中期目標改訂	564団体 (R2年度)	目標	628	団体	628	団体	564	団体	564団体 (R7年度)	継続	57,090	56,560	維持	23,150	順調	今後も継続して市民との協働や街かどの整備など、総合的な緑化を推進する。 【中期目標の変更内容】 北九州市緑の基本計画改訂に伴い、628団体から564団体に変更する。	順調	今後も継続して、街かどの花壇整備や農業体験教室など、市民が自然に触れ合う場や機会の提供を推進する。	
	28	④	長野緑地を利用した農業体験教室	公園管理課	計画地内に複数の活動エリアを設け、一年を通してそれぞれのエリアで有機農業栽培管理や花作りを体験する市民参加による農地等の整備、管理等に取り組む。また、子どもたちが自然の中で遊び、学ぶ場を提供したり、収穫物を使用したイベントなど、市民の参加を拡大するイベント等を開催する。	農業体験教室への参加者数	—	目標	2,000	人	2,000	人	2,000	人	2,000人 (毎年度)	継続	2,750	2,750	維持	1,120	遅れ	年間を通じた農業体験参加者を増やしていくため、市民参加を拡大するイベント等を開催していく。	順調	今後も継続して、街かどの花壇整備や農業体験教室など、市民が自然に触れ合う場や機会の提供を推進する。	
VII-3-(2)-① 東九州地域との連携	29	①	【施策評価のみ】 東九州自動車道建設促進協議会の要望活動	道路計画課	【施策の内容】 東九州自動車道建設促進協議会の要望活動	【施策の指標】 東九州自動車道の建設促進	—	目標	—	—	—	—	—	—	東九州自動車道の建設促進	継続	—	—	—	—	—	—	—	順調	今後も沿線自治体と協力・連携して要望活動に取り組む。